

女子美術 徳の花会

No.
8

学校法人女子美術大学教職員退職者の会

芸術による女性の自立

女性の社会的地位の向上

専門の技術家・美術教師の養成



代表幹事挨拶

2021年度「役員会」報告 / イベント報告
親睦会のお知らせ / 「同好会」設立案内 / 追悼
女子美術大学創立120周年記念 略年史

代表幹事挨拶

会員の皆様におかれましては、健やかに過ごしてでしょうか。



この1年半におよぶコロナ禍のため、今年も総会を中止することになりました。総会に代わる役員会において、任期満了で退かれた代表幹事の中嶋先生から私が任を引き継ぐ事が決まりましたのでご報告いたします。

新型コロナウィルス感染症の流行により、私達の生活様式は変容を余儀なくされ、会の一番の目的である会員同士の親睦と交流も制約を受けています。令和2年度は計画した事業を全て中止することとなりました。この状況を受け、ネットワーキングを利用する目的で「情報部会」を新設し、ホームページとフェイスブックを開設しました。今年度は、皆様の研究や活動の成果を発信して情報交換できるように改善し、オンラインでも徳の花会の活動に参加し易い環境を整えようとしています。また、有志による「同好会」も発足させ、親睦の幅を広げることになりました。

今後、この社会状況が少しでも良くなり、計画した事業が実施できることを期待しています。あらためて、皆様のご支援と各イベントへの積極的な参加をお願い申し上げます。

代表幹事 馬場 章
(元洋画専攻教授)

「総会」報告

新型コロナウィルス感染拡大防止の為、一同に会し実施することは中止とさせていただき、事業計画(報告を含む)は役員会において次の通りとなりました。

「役員会」報告

2021年度は役員会において役員・事業計画等を審議で決定いたしました。

役員紹介

代表幹事

馬場 章 (芸術学部)

副代表幹事

大澤 美樹子 (芸術学部)

橋本 弘安 (芸術学部)

幹事

及川 玲奈 (芸術学部)

佐藤 善一 (芸術学部)

佐藤 美智子 (芸術学部)

嶋澤 道雄 (短期大学部)

清水 弘之 (付属高等学校・中学校)

白幡 香織 (短期大学部)

鈴木 昌美 (教学事務部)

田村 俊明 (芸術学部)

原 聖 (芸術学部)

弘中 雅子 (短期大学部)

ヤマザキミノリ (芸術学部)

監査

丸山 一枝 (教学事務部)

三浦 良夫 (総務企画部長)

イベント報告

令和2年9月〜令和3年3月

2020年(令和2年)

第4回徳の花作品展

(チャリティー展・フリーマーケット)

例年、女子美祭に合わせ実施していましたが、女子美祭がオンラインのみで実施された為、中止としました。

秋の懇親会

例年、女子美祭時に実施していましたが、中止といたしました。

見学会と忘年会

日程 12月上旬

場所 見学 迎賓館赤坂離宮

忘年会 「嘉賓」(四ツ谷)

実施を予定しておりましたが、中止といたしました。

2021年(令和3年)

春の見学会

(世田谷美術館と砧公園の桜)

日程 3月26日(金)

場所 世田谷美術館 企画展

「アイノとアルヴァ ニ人のアールト フィンランドー建築・デザインの神話」

実施を予定しておりましたが、中止といたしました。

親睦会のお知らせ

令和3年9月〜令和4年3月

(社会情勢により中止または変更等が発生することがあります)

迎賓館赤坂離宮見学と忘年会「嘉賓」の中華料理

日程 12月上旬

場所 見学 迎賓館赤坂離宮

忘年会 「嘉賓」(四ツ谷)

募集人員 24名(先着順)

迎賓館赤坂離宮本館は、明治42年に建築された日本唯一のネオバロック様式の西洋風宮殿建築。当時の一流建築家と美術工芸家が総出を挙げて作られた建物で、細部にわたつての豪華な装飾に目を見張ります。本館と正門と噴水は国宝指定。現在も海外の来賓や国の行事に使われています。



迎賓館赤坂離宮正門

見学後は、徒歩8分の四谷の名店「嘉賓(カヒン)」で美味しい純広東家庭料理を味わいながらの忘年会です。



春の見学会 (世田谷美術館と砧公園の桜)

日程 2022年3月下旬
場所 世田谷美術館

※親睦会は実施を予定しておりますが、予定が変更になる可能性がありますので、事務局(042-778-6611)へご確認ください。ホームページでご確認ください。

第4回徳の花作品展

(チャリティー展・フリーマーケット)

2020(令和2)年度に引き続き、女子美祭がオンライン開催になったことを受け、2021(令和3)年度もチャリティー展・フリーマーケットは中止といたします。

「同好会」設立案内

徳の花会では、会員同士が自由に交流を深められる事業として同好会の設立を考えております。この同好会の設立に要する資格は発起人が徳の花会会員である事とし、役員会にお申し出いただき承認が得られれば、企画等を徳の花会ホームページにて公開し参加者を募る形式のものです。

最初に中嶋猛夫前代表幹事のお申し出により「江戸文化巡り同好会」を設立いたします。

江戸文化を愉しみ知見を育て、会員相互の親睦を期すことを目的とした同好会です。現在は「江戸城本丸と二の丸庭園見学」をはじめ、いくつかの計画をしております。詳細は、徳の花会ホームページにてお知らせいたしますので、奮ってご参加ください。

その他にも、「ワイン同好会」なども設立を検討しています。こちらについても詳細が決まりましたらホームページにて公開いたします。ご期待ください。

徳の花会HP
tokunohanakai.jp



大学行事のお知らせ

大学では新型コロナウイルス感染拡大防止策を取りつつ、学生参加の行事を含めてこれまでの日常に出来るだけ早く戻るよう努力をしておりますので、今後も益々のご支援を賜りますようお願いいたします。

2021年(令和3年)

■10月22日(金)〜24日(日)
2021年女子美祭

(オンラインのみで開催)

2022年(令和4年)

■2月26日(土)〜3月5日(日) ※3/1(火)休館
東京五美術大学連合卒業制作展

(国立新美術館)

■3月1日(火)〜3月5日(土)

JOSHIBISON

(東京都美術館)

■3月11日(金)〜13日(日)

学部・短大卒業制作展／修了制作展
(杉並キャンパス、相模原キャンパス)

■2022年3月13日(日)

学位・修了証書授与式

(午前杉並、午後相模原)

※展覧会はいずれも変更の可能性がありますが、観覧ご希望の方は直前に確認をお願いいたします。

追悼

謹んでご冥福をお祈りいたします

JAM・ガレリアニケ展覧会 スケジュール

最新情報は各施設のホームページでご確認ください。

相模原 女子美アートミュージアム

10:00～17:00(入館は16:30まで) 日・祝日休館
<https://www.joshibi.net/museum/>

女子美染織コレクション展Part 9 舞楽装束

9月29日(水)～11月6日(土) ※10月24日(日)特別開館

2021年度 女子美術大学退職教員記念展

2022年1月12日(水)～1月28日(金)

2021年度 女子美術大学大学院博士後期課程 研究作品発表会

2022年2月 ※開催は学位の申請状況により変更があります。

2021年度 女子美術大学大学院博士前期課程 修了制作作品展

2022年3月9日(水)～3月14日(月) ※会期中無休

杉並 女子美ガレリアニケ

10:00～17:00 日・祝日休廊
<https://joshibinike.tumblr.com>

国際彫刻交流展 ―感覚の解放―

9月13日(月)～10月1日(金)

第14回 四大学合同写真展「○(まる)展」

10月13日(水)～10月24日(日) ※開催方法についてはHPでご確認ください。

2021年度 女子美術大学退職教員記念展

12月3日(金)～12月22日(水)

JOSHIBI AP Graduate&Degree Show 2021

2022年1月14日(金)～1月26日(水)

2021年度 女子美術大学大学院博士前期課程 修了制作作品展

2022年3月9日(水)～3月14日(月) ※会期中無休

杉並 歴史資料展示室

10:00～17:00 火・日・祝日休室
<https://www.joshibi.net/history/>

2021年度 収蔵資料展 収蔵資料にみる女子美の歩み

9月13日(月)～2022年3月18日(金)

※10月30日(日)、12月25日(日)～1月11日(日)休室

❶ 事務局からのお願い

徳の花会の会報は、徳の花会会員(女子美術大学教職員退職者)の皆様にお送りしておりますが、住所不明でお届けできない方もいらっしゃいます。本会報が届いていない会員の方をご存じでしたら、ご本人から徳の花会事務局までご連絡をいただけるようお伝えください。また、メールアドレスをお持ちの方は、徳の花会事務局のメールアドレス宛にお名前(旧姓含む)・ご住所・在職中の所属をお送りください。

※略年史をご希望の方は徳の花会メールアドレス
tokunohanakai@venus.joshibi.jp宛にお名前・
郵送先住所・電話番号と「略年史送付希望」と明記の
上、お申し込みください。



女子美術大学創立120周年記念略年史
女子美百二十年
1900～2020

女子美の創立からの歴史を記した書物としては、1960年に出版された『女子美術大学略史』が最初だが、その後『女子美術大学八十年史』と『女子美術大学百年史』が刊行された。ともに編集(編纂)委員会を立ち上げて、女子美の教授陣を執筆者とする本格的な学校史である。『百年史』を補完する形で、写真を中心として編集されたのが『女子美術大学略年史 女子美100年とその時代 1900-2000』であり、大きな節目となる100周年では、このように女子美の歴史が改めて見直されるとともに、その史料の本格的な収集・整備も始まったのである。こうした状況を背景として2007年に誕生したのが歴史資料室であり、教員を中心とした歴史資料整備委員会だった。この中で女子美創立以来の代表的な人々に焦点を当てた『女子美術教育と日本の近代 女子美110年の人物史』が出され、2011年には、この本を教科書とした自校史教育が開始された。また、『百年史』と『略年史』出版以降に見つかった写真を中心にして、100周年以降の歴史を補足する『女子美術大学創立110周年記念略年史 女子美百十年 1900～2010』が発行された。時を同じくしてデザイン関係の歴史に絞った『松川烝二とデザインそして女子美デザイン教育の源流』(2011年)が出され、その後、衣服関係に焦点を当てつつ女子美創立期からの多くの新史料を盛り込んだ『女子美術大学と衣服教育 その歴史と現在』(2018年)が刊行された。今回の『略年史』は、110周年の『略年史』と同様、新しく発掘された写真・史料を中心としつつ、110周年から120周年に至る歴史を補完する形で編纂されたものである。この後には『百二十五年史』が控えている。

(歴史資料整備委員会 原 聖)

※ご希望の方は徳の花会メールアドレス
tokunohanakai@venus.joshibi.jp宛に
お名前・郵送先住所・電話番号とDVD
送付希望」と明記の上、お申し込みください。



120周年記念DVD
女子は是れ
美術の天使なるべし
〜玉子と志津、女子美術教育に捧げた生涯〜
(2020年10月31日BS朝日放映)